



平成31年 年頭のご挨拶

病院長 芹澤 寛

あけましておめでとうございます

芹沢病院に通院されている患者様、入院されている患者様ならびにご家族様、また平素より大変お世話になっております関係者各位におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。



さて、昨年を振り返りますと、福井県の記録的大雪に始まり、大阪や北海道の大地震、台風21号や24号など、自然の猛威を痛感する一年となってしまいました。毎年、京都の清水寺で発表される「今年の漢字」も『災』となりました。これは新潟県中越地震が発生した平成16年以来、二度目ということでした。被災された方におかれましては、謹んで心よりお見舞い申し上げます。当院といたしましても、引き続き防災・減災を心がけてまいります。

明るい話題としましては、韓国で行われた冬季オリンピック・パラリンピック、ロシア・サッカーワールドカップの日本人選手の活躍がありました。羽生選手の2大会連続の金メダルや、サッカー日本代表のベスト16入りなど、素晴らしい活躍にたいへん感動いたしました。

本年に目を向けますと、10月より消費税が8%から10%に引き上げられます。景気が回復したとは言えない状況での増税となりますので、ご家庭や企業様でも対応に苦慮されることと思います。医療の観点から申し上げますと、健康な方はとくに、健康維持にかかる費用を削減しがちです。企業様の健診でも、経費削減のために健診項目の見直しなどをお考えかもしれません。健康であるうちはその大切さに気が付きにくいものです。体調を崩されてからの治療費の方が高くなってしまいうことも多々ありますので、なにとぞご自身の健康維持にご留意いただければと思います。

また、4月末から5月にかけて、天皇陛下が生前退位され、皇太子さまへの譲位がなされることとなりました。それに伴い、元号も平成から新しいものへと改められます。天皇陛下は日本の象徴です。新天皇が即位され、元号が改まれば、新たな時代のスタートとなります。思えば、昭和21年に前身の「幸原診療所」として開設された芹沢病院は、昭和・平成と2つの時代にかけて、地域の医療に携わることができました。とても感慨深く、皆様のご厚意に感謝申し上げます。来たる新たな時代でも、地域の『かかりつけ病院』としてしっかりと地域医療を担っていくよう、気持ちを新たにしております。なお、譲位に伴いゴールデンウィークの連休が拡大されます。当院も9連休とさせていただきます。連休中にお薬がなくなってしまうまいよう、受診日の調整をお願い致します。防災の観点からも、1週間分ほどのお薬を備蓄することが推奨されておりますので、これを機会に、ご準備をされてはいかがでしょうか。

最後に、本年が皆様方にとって素晴らしい年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

